

事業番号	06 05 01	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	<b>生物多様性保全事業</b>				部局	環境部	課・室	自然保護課	
					実施期間	S46 ～	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献								

### 1 現状と課題

- ・「過剰な捕獲・採取」「里山や草原の管理の衰退」「外来種の移入・分布拡大」「気候変動の影響」などにより、野生動植物の生息環境が悪化している。
- ・「生物多様性を知り、人と人を繋ぎ、生き物を皆で守る」を基本コンセプトに、多様な主体との協働によって、生物多様性の保全を図る必要がある。

### 2 事業目的

生物多様性や生態系が暮らし・社会・経済の基盤であることを県民が学び、人と人との繋がりの中で、あらゆる主体が自然環境に配慮して行動する、「人と自然が共生する信州」の実現を目指す。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

#### ①生物多様性保全に向けたパートナーシップの推進

- ・生物多様性保全パートナーシップ協定の締結  
保全団体などの保護活動に携わる人・団体と支援を申し出る企業のマッチング
- ・多様な主体との連携による保全活動  
長野県内で希少種が危機的な状況に陥っている地域（ホットスポット）における保全活動
- ・生物多様性に関する学びの推進  
保全への理解、支援、活動参加の機運を醸成するための学習ツールの開発、体験学習の実施



美しく豊かな信州の草原（霧ヶ峰）

#### ②ライチョウなど希少種の保護対策の推進

- ・長野県希少野生動植物保護条例の保護回復事業計画に基づく保護対策
- ・ライチョウ保護（国連携・民間協働）  
生息環境調査などの保護対策を実施  
ライチョウ目撃情報投稿アプリ「ライボス」の運用（CF寄付金（R2～3）活用）



ライチョウ



外来種対策ハンドブック

#### ③外来生物防除の促進

- ・「長野県版外来種対策ハンドブック」を活用した地域主体の防除体制の構築
- ・今後急激な増加が危惧されるアライグマの分布拡大状況のモニタリングと対策実施

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	保護回復事業計画の策定及び評価検証数（累計）	種	24	26	↑	29	↑	29	達成	希少野生動植物保護条例に基づく保護対策の実施状況を把握するための指標として設定	
②											
③											
④											
⑤											

### 5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	26,575	△ 2,446	24,129	9,405	19,578	7.3
R3年度	0	20,354	△ 600	19,754	8,140	15,660	7.3
R2年度	0	22,509	△ 2,506	20,003	10,855	14,120	7.3

事業番号	06 05 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	生物多様性保全事業		部局	環境部	課・室	自然保護課

## 6 主な取組実績と成果

### ①生物多様性保全に向けたパートナーシップの推進

・県が仲介役となって保全団体と企業のマッチング(協定締結)を行うことにより、多様な主体との連携による生物多様性保全を推進。

#### 【R4実績】

新規2件の協定締結【協定制度開始後累計(H27～R4年度)：19協定】

- ・ライチョウ：(株)コシダテック、(株)KMC北関東、長野県
- ・ブッポウソウ：(株)医学生物学研究所、ブッポウソウの里の会、長野県



パートナーシップ協定締結式

・実践的なライチョウ保護活動を行える高度技術者を5名養成。【累計(R2～4年度)：15名】

- 技術者養成とともに、ライチョウの生息を脅かすサルの動向調査や追い払いを実施
- 場所：中央アルプス国定公園：木曾駒ヶ岳周辺 追い払い：8/11～31(延べ21日間)
- 環境省公表 H30：1羽確認→R4.10：100羽確認



高山帯へ侵入するサルの見張り

### ③外来生物防除の促進

外来種の駆除活動を地域において主導的な立場で進める市町村担当者、指導者、地域リーダー向けの講習会を開催。

- ・効果的な駆除方法や他地域の対応事例の紹介、対策技術の講習等
- ・開催：県内4地域、参加者：計78名

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	保護回復事業計画の策定及び評価検証数(累計)	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
保護回復事業計画：計画策定後概ね5年ごとに、順次、評価検証を実施。(内、計画策定：15、評価検証14)							
R4年度：評価検証(3種) チャマダラセセリ、ゴマシジミ、シナイモツゴ(R3年度：2種 ブッポウソウ、アツモリソウ)							
指標②		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標③		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標④		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標⑤		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度を取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・中央アルプスにおけるライチョウ保護の技術者の養成やサルの追い払い(R3～継続)等を実施。国・地元市町村等と連携して保護・増殖活動を行うことにより、ライチョウの生息数は増加(推定個体数 R3:18羽、R4:41羽)している。今後も、ライチョウを始めとする希少種の保護対策を効果的に講じるためには、生息状況等の情報を把握・整理が必要である。
- ・生物多様性保全パートナーシップ協定制度の開始後、着実に協定件数が増加しているものの資金面、人材面で課題を抱える保全団体が依然あることから、今後もパートナーシップ協定の締結を通じて、協働による生物多様性保全に取り組む必要がある。
- ・特定外来生物の防除は、地域主体による防除活動が支えとなっている。継続的かつ効果的な防除対策を推進するため、研修会による防除技術の習得や、防除活動(計画策定含む)に対する国の助成制度の活用など、活動への継続的な支援が重要である。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

#### 【多様な主体との連携による生物多様性の保全】

- ・「長野県版レッドリスト」の改訂(R5～：R8公表予定)  
(希少種の最新の生息状況を把握し、必要な情報を公開することにより、県民等の生物多様性の保全への関心を高める。)
- ・生物多様性保全ポータルサイトの新設、保全団体の活動を紹介するパンフレットの制作など、情報発信を強化
- ・生物多様性保全パートナーシップ協定の新規締結の拡大(環境基本計画目標 協定締結数(累計)：34件(R9年度))
- ・長野県外来種対策ハンドブックや解説動画等を活用した普及啓発、指導者育成研修会の実施

事業番号	06 05 01	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	<b>生物多様性保全事業</b>		部局	環境部	課・室	自然保護課

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>生物多様性保全事業</b>	14,120 千円	15,660 千円	19,578 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	生物多様性保全体制構築事業 【人と生きもの パートナーシップ推進事業】	直接	県が仲介役となって保全団体と企業のマッチングを行う ・支援企業の掘り起こし→内容協議→協定締結（人・財面の支援、PR） 生物多様性保全パートナーシップ協定 R4新規協定：2件（累計19件）	
2	ホットスポット保全対策事業 【人と生きもの パートナーシップ推進事業】	直接 補助金	希少種やホットスポットの緊急保全対策を実施 ・保護を啓発する看板等整備や緊急的な保護対策 ・寄付金をもとに市民団体等が実施する生物多様性の保全活動に対して補助金を交付 補助金交付団体：6団体（補助額合計：339千円）	
3	生物多様性ながの魅力発信プロジェクト 【人と生きもの パートナーシップ推進事業】	委託	～知ろう！学ぼう！楽しもう！～ 長野県の生物多様性の豊かさを学び、関心を持ち、県民主体で保全に取り組む機運を醸成するための魅力を発信 ①生物多様性の素晴らしさを、親しみやすく、分かりやすく学べるポータルサイト、コンテンツを整備 ②将来の保護活動の担い手となり得る小学生をメインターゲットに保護者同伴の体験学習会を実施 ①生物多様性保全ポータルサイトの制作（R5公開予定） ②親子フィールド学習会：1回開催（R4.7.31）	
4	ライチョウ緊急保全対策事業 【希少種戦略構築事業】	委託 直接	①ライチョウの生息環境等の基礎調査 影響を及ぼすニホンザルの追い払いや行動調査を実施 ②ライチョウサポーターズスキルアップ事業 ライチョウ保護ボランティアのレベルアップのため、最新動向を学ぶ講習会を開催 ①サル追い払い・行動調査：R4.7.1～8.31実施、1箇所（中央アルプス） ②スキルアップ講習会：1回開催（R5.2.26）	
5	ライチョウ保護スクラムプロジェクト 【希少種戦略構築事業】	委託	①ライチョウの保護増殖体制を強化するため、高度技術者を育成 ②目撃情報収集アプリ「ライボス」の機能を拡充 ①高度技術者養成：5名 ②ライボス機能の拡充（位置情報の精度向上、情報発信機能の追加）	
6	希少野生動植物保護対策事業 【希少種戦略構築事業】	直接	①県民等の保護活動の指標となる保護回復事業計画の評価検証 ②希少種のパトロール活動を行う監視員の委嘱 ①評価検証種：3種（チャマダラセセリ、ゴマシジミ、シナイモツゴ） ②監視員委嘱者：97名（R5.3.31現在）	
7	外来生物対策普及事業 【外来生物戦略構築事業】	委託	「長野県版外来種対策ハンドブック」を普及し広域的な駆除活動を促進するため、駆除活動を主導的な立場で対策を進める担当者、指導者、地域リーダー向けの講習会を開催 講習会：4回開催（10/25、10/26、11/1、11/2）	
8	外来生物防除対策事業 【外来生物戦略構築事業】	委託	収集されるアライグマ等の目撃・捕獲情報、痕跡やセンサーカメラを用いた野外調査結果、さらに捕獲個体の解剖分析による情報を統合し、各地域における定着段階の変化を把握 アライグマ定着状況把握のための解剖調査・ヒアリング調査	
9	自然環境保全地域等標識板設置事業	直接	老朽化して板面が判読しにくい案内標識板等を改修するとともに、自然環境保全地域、郷土環境保全地域をHPで紹介 設置箇所：2か所（白馬村、長野市）	
10	自然探勝会	委託	障がいのある方への自然にふれあう機会を提供するための自然探勝会の開催 自然探勝会：1回開催（R4.10.8 長野市聖高原）	